

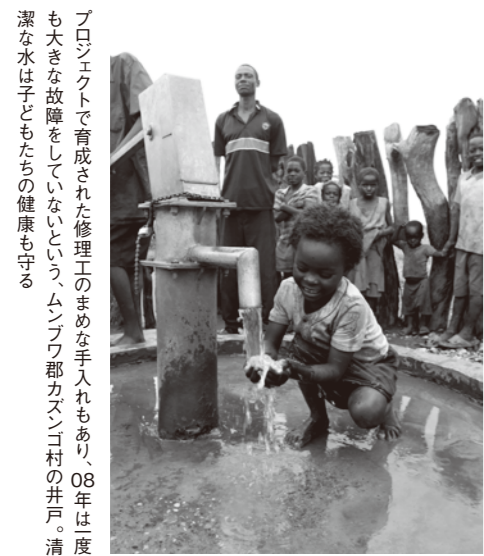


スペアパーツの店で在庫を確認するバンダさん(左)。店ができる前は、部品を主に援助機関やNGOからの支援に頼っており、在庫が底を尽けばそれっきりか、ルサカまで買いに行かなければならなかった

プロジェクトではまず、スペアパーツを常備している店舗を両郡に一つずつ設置し、店の運営・管理を担う郡役所の担当者を対象として話を進めた。プロジェクトは07年から、中央州の4つの郡に支援を拡大している。そこでは、バンダさんらムンブワ郡・モンゼ郡の役所の担当者が自らの経験を生かして指導に当たっている。高橋さんからプロジェクトを引き継いだ北島知美・JICA専門家は「今はまだ4郡に店

プロジェクトの成果を全国へ

プロジェクトは07年から、中央州の4つの郡に支援を拡大している。そこでは、バンダさんらムンブワ郡・モンゼ郡の役所の担当者が自らの経験を生かして指導に当たっている。高橋さんからプロジェクトを引き継いだ北島知美・JICA専門家は「今はまだ4郡に店



プロジェクトで育成された修理工のみなさん。08年は度も大きな故障をしないという、ムンブワ郡カズンゴ村の井戸。清潔な水は子どもたちの健康も守る

といった課題が指摘されていた。そこでJICAは、ムンブワ郡と南部州モンゼ郡を対象に、スペアパーツの安定供給を実現し、住民自身が井戸を持続的に維持管理できる体制を整える「地方給水維持管理能力強化プロジェクト」を05年に開始した。08年9月までJICA専門家としてプロジェクトを指揮した高橋逸郎・JICA地球環境部特別嘱託員は、「井戸を持続的に使うには、行政だけでなく、住民自身も一定の責任を持ち、主体的に維持管理にかかわっていく必要がある」と話す。

プロジェクトではまず、スペアパーツを常備している店舗を両郡に一つずつ設置し、店の運営・管理を担う郡役所の担当者を対象として話を進めた。プロジェクトは07年から、中央州の4つの郡に支援を拡大している。そこでは、バンダさんらムンブワ郡・モンゼ郡の役所の担当者が自らの経験を生かして指導に当たっている。高橋さんからプロジェクトを引き継いだ北島知美・JICA専門家は「今はまだ4郡に店



水をくむチボレラ村の女性たち。この地域では日本を含む海外からの支援で、手動式の井戸が多く設置されている



チボレラ村近郊のヘルスセンターで、井戸の修理用工具を管理するアルフレッド・ムウインガさん。工具は周辺の村々で共同で使われている



ムンブワ郡のスペアパーツの店。村人たちは井戸が故障すると部品を買いにやって来る

村人の手で井戸を守り続けるために

アフリカ南部のザンビアでは、地方の村を中心に、多くの人が安全な水を手にできない状況にある。井戸が足りなかったり、井戸があっても壊れるとすぐに修理できないことが主な要因だ。JICAは、人々が安全な水を安定して利用できるような体制づくりを支援している。

壊れると修理できない井戸

井戸のポンプをグッと下に押し、給水口から水が勢いよく流れ出る。瞬く間に新鮮な水でポリタンクが満たされていく。これをひよいと頭に載せ、家路につく女性たち。中央州ムンブワ郡チボレラ村の井戸には、今日もたくさんの方が水くみに訪れている。

人口の7割が地方の農村部で暮らすザンビア。村では井戸でくみ上げた地下水を使うのが一般的だ。しかし、井戸などの給水施設が足りないため、給水率はわずか37%、多くの人が安全な水を利用できずにいる。国際社会の支援で給水施設が建設されているものの、干ばつで枯渇したり、老朽化・故障して使わずに放置されているものも目立つ。

日本も1985年以来、1000基以上の井戸の建設を支援してきた。2004年の調査では、その8割が正常に稼働していることが確認された一方で、「壊れたときに、修理費が賄えない、修理工がいらないなど、各郡の井戸の維持管理体制が不十分」「首都ルサカ以外の販売網がないために井戸の修理に必要なスペアパーツ(予備の部品)が地方に届かない」

舗を立ち上げる準備として、体制の整備や担当者の育成を進めている段階。財務管理や部品の継続的な供給を今後どう確保なものにしていくかなど、乗り越えるべき課題は多い」と説明するが、ほかの郡でも井戸が持続的に維持管理されるようになってほしいと努力するバンダさんら関係者の姿に、頼もしさを感じている。

ザンビア政府もプロジェクトの取り組みを高く評価し、地方給水改善に向けた国家プログラムで、プロジェクトの活動を「給水施設運営維持管理モデル」として全国展開することを決定。JICAはそのためのガイドライン作りを支援し、ほかの援助機関とも協調しながら、全国で普及を進めている。

安全な水を安定して供給する井戸は、人々にとって生活と健康の土台となる。その命の源を自ら守り続けていく活動がザンビア全土に広がり始めた。チボレラ村で見た、井戸に集まる村人たちの明るい笑顔も広がっていくに違いない。

